

Family's Information

FUJITSU ファミリー会をもっと楽しく活用していただくための様々な情報をご提供します。

FUJITSU ファミリー会事務局 E-mail : contact-familykai@cs.jp.fujitsu.com

会報 担当幹事から



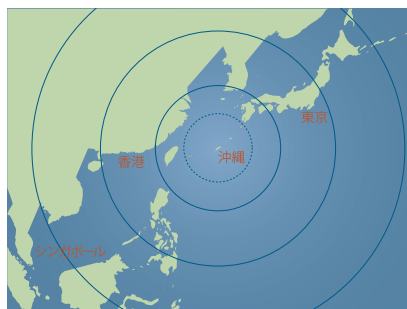
沖縄支部
兼次 寿
株式会社沖縄県農協電算センター

去る3月4日に、本誌374号の支部見聞録で紹介された沖縄空手会館の落成記念式典が開催され、来年には第1回沖縄空手国際大会も開催されます。また、この日は、語呂合わせで「さんしんの日」ともなっており、国内外で万余の老若男女が三線を持ちより演奏会が開かれました。「空手」と「三線」は、もともとは士族や王宮で受け継がれ、一般の人々への普及は百年ほど前からのようですが、時を経て、世界の人々をつなぐ文化として広がりを見せています。

沖縄は、中世から海上交易のネットワークを持ち、東南アジアの架け橋となってきました。近年、

ICTの分野では、東京・沖縄・香港・シンガポールを結ぶGIX(グローバル・インターネット・エクスチェンジ)とデータセンターの整備が進み、国外に事業所を持つ企業のデータやコンテンツの拠点として地理的な特長を活かした役割も担いつつあります。また、那覇空港を中継地に東南アジアの主要空港をつなぐ物流ネットワークも形成されており、ICTの面では、パーツセンターやリペアセンターの立地も期待されています。

現在、那覇空港の滑走路増設やモノレールの延伸も進められています。観光やスポーツに加えてビジネスでもぜひ、沖縄へお立ち寄りください。



NEW FAMILY (1~2月度ご入会分)

- 北海道 (株)サイバーシスコム
北菱フォト(株)
太平洋興発(株) 釧路支店
- 東北 地球ソリューションズ(株)
第一生命保険(株)
中水青森中央水産(株)
本荘電気工業(株)
ザ・セレクトン福島
(株)丸協
- 関東 浪速運送(株)
(株)アジレット
NTTコミュニケーションズ(株)
エヌ・ティ・ティ都市開発(株)
アクロスロード(株)
- 北陸 呉羽観光(株)
- 東海 東海プラントエンジニアリング(株)
- 関西 日立造船(株)
(株)富士通インフォテックサービス
- 中国 三谷産業(株) M&E事業部(広島)
(株)バルコム
医療法人信愛会 日比野病院
(株)RELATION
広島駅弁当(株)
- 九州 (株)オリズン
マインドソフトウエア(株)
(株)電盛社



LS 研究委員会

LS研総合発表会2017ご案内 ～2016年度の研究成果を集結～

- ・日時：2017年6月8日(木)
- ・場所：グランドニッコー東京 台場(東京・台場)

プログラム

- 9:45～ 9:55 LS研運営部会長 挨拶
- 9:55～ 12:25 研究分科会 研究成果発表
- 13:40～ 16:10 研究分科会 研究成果発表
- 16:30～ 17:40 特別講演
- 18:00～ 19:30 懇親パーティー(分科会表彰)

詳細・お申し込み

<http://jp.fujitsu.com/family/lksen/activity/annual/17/>

締切：6月1日(木)

特別講演

「歴史を学び、大局観を養う。」

『歴史研究』編集委員、
内外情勢調査会講師、
地方行財政調査会講師

加来 耕三 氏



プロフィール：

1958年10月、大阪市生まれ。奈良大学文学部史学科を卒業。学生生活を経て、1984年に奈良大学文学部研究員。現在は、大学・企業の講師を務めながら、歴史家・作家として独自の史観にもとづく著作活動を行っている。テレビ・ラジオ等の番組監修、出演などの依頼も少なくない。現在、レギュラー出演中のラジオ番組には、『すっぴん!』の「裏歴史」をめぐる旅(NHK第1放送)ほか。

Family's Information

FUJITSU ファミリー会をもっと楽しく活用していただくための様々な情報をご提供します。

FUJITSU ファミリー会事務局 E-mail : contact-familykai@cs.jp.fujitsu.com



入賞論文のお知らせ

2016年度は一般論文25編、新人賞10編の応募があり、論文委員会の厳正な審査の結果、入賞論文は優秀論文以下、次の通り決定いたしました。(最優秀論文の該当なし)



優秀論文 (賞金25万円)

ワークライフバランス実現に向けた支援とは

育児・介護社員に関する課題及び施策の仮説立案から効果検証を踏まえて

小林クリエイティブ株式会社 瀬古 美菜子 氏

秀作論文 (賞金10万円)

客先常駐型ビジネス構造の中小IT企業における人財育成の実践報告

株式会社トータルオーエーシステムズ 吉田 一美 氏、北村 雅美 氏

小中学校における学校ICT環境の現場と展望

富士通エフ・アイ・ピー株式会社 平野 智之 氏

卸売市場の現場にタブレット型コンピュータを持ち込み卸売業務の迅速化を図る

帯広地方卸売市場株式会社 佐藤 俊光 氏

新人賞 (賞金3万円)

地震・雪害などの大規模災害対策への参画を通じて学んだ三現主義の重要性

山崎製パン株式会社 佐藤 千穂 氏

「PDCA帳」の活用による基盤SE実践能力の向上

富士通エフ・アイ・ピー株式会社 伊東 洋希 氏

システム運用における課題及び改善活動について

運用自動化による工数削減・作業標準化

富士通エフ・アイ・ピー株式会社 満尾 嘉偉 氏

要件定義工程におけるデータモデルの活用について

日揮株式会社 喜多 陵 氏

CIツールの導入による開發生産性と品質の向上

東京海上日動システムズ株式会社 古澤 直人 氏

富士通
フォーラム
2017



2017年5月18日(木)
東京国際フォーラム

FUJITSUファミリー会共催セミナー

『ファミリー会論文 2016年度入賞論文発表』

富士通フォーラムにて、ファミリー会論文の2016年度入賞論文2編を発表いたします。

S14-2 15:00~15:50

2016年度ファミリー会論文 優秀論文

ワークライフバランス実現に向けた支援とは

育児・介護社員に関する
課題及び施策の仮説立案から
効果検証を踏まえて

小林クリエイティブ株式会社
経営企画部経営企画課
企画・運営担当

瀬古 美菜子 氏



2016年度ファミリー会論文 秀作論文

客先常駐型ビジネス構造の 中小IT企業における 人財育成の実践報告

株式会社トータルオーエーシステムズ
管理本部 教育部 マネージャー

吉田 一美 氏



このセミナーの聴講には申し込みが必要です。富士通フォーラムでは、この他にも各種講演やセミナー、富士通のICTソリューションの展示を予定しています。詳細はホームページをご覧ください。

<http://forum.fujitsu.com/tokyo/e/>

お申し込みは5月17日(水)12:00まで

Family's Information



エントリー締切

論文原稿提出締切

2017年 7月 31日(月)

2017年 9月 29日(金)

※エントリーが間に合わない方は、事務局までぜひご一報ください。

募集テーマ

会員企業の課題解決に役立つ様々な事例

日常業務を通じて経験された、会員に参考となるICT 事例はもちろんのこと、「グローバル展開」や「人材育成」、「コミュニケーション活性化」のようなテーマも大歓迎です。情報システム部門の方のみならず、利用部門の方々もご応募ください

賞および賞金

最優秀論文…賞金50万円

優秀論文…賞金25万円

一般論文応募者には5万円が贈呈されます！

論文執筆謝礼…2万円

Web掲載謝礼…3万円

(提出論文一編につき贈呈)

(審査の上、会員専用ホームページ「FAMILY ROOM」に掲載された論文一編につき贈呈)

秀作論文…賞金10万円

新人賞…賞金3万円

※Web掲載されない論文は執筆謝礼(2万円)のみの贈呈となります。

応募のメリット

「人材育成」と「自社の取り組みのアピール」に最適！

プロジェクトの整理

論文という形で成果を纏めることは、自身のかかわったプロジェクトを改めて整理し、体系だててものを書く非常に貴重な経験の場となります。この経験は自身の成長へ確実に繋がります。

論文スキルの向上

ファミリー会論文は、審査の事前事後に論文委員会の評価・コメントを執筆者へフィードバックする事を特徴としています。自身の論文がどのように評価されたのを知ることができ、大変勉強になります。

表彰と発表

入賞論文については FUJITSU ファミリー会 春季大会で表彰式を行います。また上位入賞論文についてはセミナーとして発表する機会を用意します。社内外に向けて自社(自部門)の取り組みを広くアピールできます。

新人賞！入社3年目までの方対象

OJTの中から学んだことや初めて携わったプロジェクトでの経験など、日々取り組んでいる業務を論文として発表してみませんか？業務を見つめ直すことでさまざまなビジネススキルが向上します。

- 応募資格：入社3年目までの方
- 募集テーマ：日頃の業務から学んだあらゆること
- 形式：小論文(本文 4,000字～6,000字程度)
- スケジュール：FUJITSU ファミリー会論文と同じ

募集要項については、論文のホームページをご覧ください。 <http://jp.fujitsu.com/family/article/>

応募時に必要な各種フォーマットや執筆の際に役立つ「執筆の手引き」、2016年度の入賞論文を含む400編以上の論文を掲載しています。

